

# 平成 29 年度 一般会計予算討論

賛成多数で可決

## 賛成 待機児童対策を積極的に進めるべき

賛成

青藍会 大築守 議員

福祉施策の充実やスポーツ関連施設の整備を含め、昨年度より約 12 億円多い約 379 億円の予算である。

平成 30 年度の認可保育園、小規模保育園各 1 園の開園、幼稚園 1 園の認定こども園への移行等の費用も計上され、積極的な待機児童対策が盛り込まれている。

また、三角、西原、亀久保放課後児童クラブの整備関連費が盛り込まれている。

大井小学校、元福小学校の大規模改修工事、花の木中学校のトイレ改修関連費も予算化されている。その他課題への対応が適切になされている。



福岡放課後児童クラブ

## 反対 将来に生かされる基金の使い方を

反対

日本共産党 伊藤初美 議員

市民からの税収が、前年比で 3 億円も増えている。基金は積み立てるだけでなく、社会保障、教育、子育て支援など、貧困と格差の是正に活用すれば、地域経済の好循環に繋がる。

144 人もいる保育所入所保留児童のための保育所整備や保育士確保の緊急対策を実施することが子育てで応援のまちである。また、空家等対策の推進に関する条例が制定されたが、55 万円の予算では本気度が見られない。リフォーム助成などいいものを長く使う住宅政策が必要だ。

## 賛成 未来に向けた予算編成

賛成

公明党 堀口修一 議員

本予算はふじみ野市の未来をも決する重要な予算である。そして、合併による恩恵が終了することなど、今後予想される厳しい財政状況を見据えて慎重な財政運営が必要である。

また、施策の柱となる子ども優先のまちづくりが反映された予算である。合併後 12 年、その特例による恩恵を活用しつつ、1 つの市としての基盤を固めつつあり、いよいよ文化・スポーツといった市民が心豊かに希望を持って歩みを進めるための施策が、本格的に反映された予算であることを大いに評価する。

## 賛成 子ども優先のまちづくりを評価

賛成

民進無所属の会 民部佳代 議員

人口増、新築住宅増にともなう市税の増加という市の優位性を活かし、今後を見据えて予算に反映している。特に、子ども優先のまちづくりは生産年齢人口を呼び込み、全ての世代に利益をもたらすものと評価する。

待機児童問題も市は独自に家庭保育室に通う子の保育料補助を行っており、認可保育園に入れなかったらとって経済的負担が大きくなるわけではない。表面上の数字だけみて不安をおおることのないよう市民によく説明すべきだ。

## 賛成 子育て世代の目線に立った支援強化を

賛成

無所属 島田典朗 議員

本市は年少人口の増加が続いているが、これに伴い、保育ニーズも高まり、144 人の入所保留児童、うち 25 人の待機児童見込みが生じた。今回、認可保育園等の整備補助金が計上され、更なる保育環境の整備を期待する。ただし、過去の新園整備の際は、一部混乱が生じたこともあり、保育運営等巡回相談もあわせ、保育の質の向上に努められたい。

新たに始まる子育て世代包括支援センターとともに、子育て世代の目線に立った一層の支援強化を期待したい。